第１回高知市まちづくり活動検討委員会　会議録

**１　日時**　令和２年７月28日（火）19：00から21：00まで

**２　場所**　高知市たかじょう庁舎６階　大会議室

**３　出席者**

　〔委員〕

　　　検討委員会委員10名

　〔事務局〕

　　　市民協働部，地域コミュニティ推進課

**４　配布資料**

　（１）式次第

　（２）高知市まちづくり活動検討委員会委員名簿

　（３）高知市まちづくり活動検討委員会の役割

　（４）第１回検討委員会資料

　（５）高知市まちづくり活動検討委員会条例

**５　協議事項**

　（１）委員長・副委員長の選出

　（２）経過説明

　（３）公益信託高知市まちづくりファンドについて（意見交換）

**【質疑応答，意見】**

**（２）について**

委員：　資金調達方法の多様化について，現在高知市内でまちづくり活動を行う団体でク

ラウドファンディング等を活用するグループはみられるか。

→　　菜園場にある宿泊施設や，高知市のみどり課が行政型クラウドファンディングを活用した事例がある。

委員：　現在，公益信託で運用しているが，今後もこの運用方法を続けるのか否か，また公益信託の検証についても検討委員会の中で審議するのか。

→　　平成23年度の検討の中で，公益信託に関しても検証を行った経過がある。公益信託を続けるか否かをこの場で決めることはできないが，資金管理方法をどうしていくかについてもご意見をいただければありがたい。

委員：　助成団体の地域的な広がり，どの地区の団体であるか等を分析したことはあるか。

→　　地域での広がり，波及効果等の分析はできていない。

委員：　地域での広がりというより，どこの地区の団体に助成をしているのかを資料にし

てもらいたい。

**（３）について**

　委員長が進行を行った。まちづくりファンドの今後について出た意見（抜粋）は以下のとおり。

・高知市の思い描く市民活動の未来を実現するために達成すべきポイントを整理して、まちづくりファンド（以下まちファン）の仕組みをデザインしていくことが大切。

・資金調達手段が多様化する中で、クラウドファンディングでもファンドレイジングでもなく、まちファンだからこそできることは何なのか。

・見守り委員会で出た提案は残すべき。

・まちファンの活動には公金が使われているが，市民にはその意識がない。公金が使われていることを意識してもらうための仕組み作りが必要ではないか。

・資金の使い方を、助成金だけにとどまらずもっとTVや新聞広告などの広報費にあてるべき。

・こどもファンドとの関わりも検討していきたいとの意見もある一方で、性質の違うファンドを無理に組み合わせる必要もない。

・自由度が高く、助成対象となる活動の幅もかなり広いことがよいところでもあるが、そこが審査をする側も助成を受ける側も逆に掴みきれていない。

・まちファンがまちづくり活動を行う人達にとってどのように必要とされているかの分析や、目的を見直して、共通認識を持って再スタートするべきではないか。

・行政の補助金で漏れたところを拾うこともまちファンの一つの在り方。

・３回での検討委員会では少ない。９月・１月に勉強会を挟み、検討回数を増やしてはどうか。勉強会には委員はボランティアで参加する。

・平成23年度の検討時のように編集委員を決めてはどうか。提言書は冊子でまとめるのが良いと思う。